9月21日(金) 日韓文化交流フォーラム

午後2時～午後8時30分 / 「まなびの館ローズコム」4階大会議室 / 入場無料・記念品贈呈

■第一部(14:00-17:20):朝鮮通信使人形展・囲碁川柳展・全盲棋士記念対局・日韓市民文化祭

- ご挨拶:大演憲司氏(21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛 実行委員会委員長)
- ◎朝鮮通信使人形展:全国各地域の朝鮮通信使人形が大集合…光元次夫氏(提供者)のお話
江戸期の朝鮮通信使に全国から人々が見物に来て、各地域に「唐人人形」が拡がりました。
- ◎楽しい囲碁川柳展:「碁敵は憎さも憎し懐かしし」…抱腹絶倒の絵入り川柳展
碁柳会川柳は1万首を超えました。春風亭華柳師匠直筆の楽しい絵入り色紙の展示。
- ◎全盲棋士・柿島光晴二段 対 金住則行六段 記念対局
特製碁盤での珍しい対局。金住さんは映画化が進む「李藝～最初の朝鮮通信使」の原作者です。
- ◎日韓市民文化祭:豪華・日韓ミュージシャンによる多彩な演奏をお楽しみください。
【邦楽】松浦歌朋氏(琴)・中川淳山氏(尺八) 曲目:彩春 ほか
【ピアノと手作り楽器とポイパのコラボ】 水野伸子氏(岐阜女子大学准教授)ほか
【韓国】金鍾曙氏(歌手) 金蓮玉氏(フルート奏者) 金秉秀氏(サクソ奏者) / 【日本】心の唄バンド

■第二部(18:00-20:30 開場17:30):私たちの日韓交流トーク、日韓記念コンサート

○ご挨拶:羽田 皓氏(福山市長)

★トーク…楽しく語ろう～私たちの日韓交流

- 劉 昌赫氏(ユ・チャンヒョク:韓国棋院九段):三度目の靛の浦＝小林九段との対局の楽しみ
韓国碁界トップ棋士(世界棋戦優勝6回、霸王戦優勝)。三度目の靛の浦対決に静かな闘志を燃やします。
- 金 惠臨氏(キム・ヘリン:韓国棋院初段):初めての靛の浦訪問＝韓日交流の新たな出発に
気鋭の韓国女流棋士(2009年入段、2010年女流選國主戦準決勝)。日本語が堪能で、福山は初めてです。
- 小林光一氏(日本棋院九段):よきライバル＝趙治勲さん、そして劉さんとの対戦
棋聖戦8連覇など日本碁界の頂点を極めた。天才・趙治勲九段とは宿命のライバル。故木谷實九段門下。
- 小川誠子氏(日本棋院六段):人と人をつなぐ囲碁＝日韓共通の素晴らしい文化
中学2年で女流アマ本因坊を獲得してプロ入りし、女流トップへ。現在、日本棋院理事。故木谷實九段門下
- 朴 成培氏(パク・ソンペ:韓日コーディネータ):韓日交流の多彩な流れをつくろう!
ソウル市職員時代に東京都庁に国際交流員として派遣される。以後、韓日交流をライフワークに。
- 向本圭太郎氏(東京都職員、21世紀の朝鮮通信使実行委員会):若い世代が担う日韓交流
福山市出身。2007年、友人たちと靛の浦を訪問し、多彩な交流に発展。ソウル市職員との交流も進める。
- 木谷正道氏(21世紀の朝鮮通信使実行委員長、まちの音楽家) <司会>
5年前から靛でお年寄りと唄を歌う。父・木谷實が6人の韓国棋士を育てたことから日韓囲碁交流を構想。
- ◎日韓子ども棋士登場:朴常鎮君(パク・サンジン:韓国:小学5年生)、施毅龍君(日本:小学6年生)
- ◎韓国若手アーティストの紹介:9月から3人が靛の浦に滞在し、創作と日常交流を開始します。

★記念コンサート～日韓ミュージシャンの競演

- ◆金鍾曙氏(キム・ジョンソ:歌手) ◆金蓮玉氏(キム・ヨンオク:フルート奏者)
- ◆金秉秀氏(キム・ビョンス:サクソ奏者) ◆心の唄バンド:木谷正道氏(ヴォーカル)
- 竹DS氏(創作ソロ手話唄) 出縄守英氏(ギター/ベース) 丸山泰明氏(ポイパ) 三木靖子(ピアノ)
- <曲目> 七甲山 チングヨ(友よ) マンナム(出会い) アメイジング・グレース
アリラン 昴 Jupiter 遥かなる夢に～Far away 百万本のバラ 故郷

- 主催:21世紀の朝鮮通信使実行委員会、NPO法人暮しと耐震協議会 【連絡先】090-9801-3140(木谷)
- 後援:21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛 実行委員会、福山市教育委員会、釜山文化財団 ほか
- 協力・協賛:大阪商業大学、福山市立大学、金住則行(グリーン法律事務所長)、(株)損保ジャパン ほか

<参加者記念品> ◎木谷實・呉清源 特製クリアファイル3枚組を全員に贈呈(大阪商業大学寄贈)
◎日韓トップ棋士の色紙(直筆)贈呈(抽選)

「21世紀の朝鮮通信使」メイン・イベント～楽しい囲碁交流へのお誘い!

主催:21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛 実行委員会

■9月22日(土) ◎日韓トップ棋士対局(小林光一九段 対 劉昌赫九段) ◎大盤解説、歓迎コンサートなど

■9月23日(日) ◎日韓女流棋士対局(小川誠子六段 対 金惠臨初段) ◎プロ棋士による百面打ち囲碁指導

◎日韓子ども棋士対局:朴 常鎮君(韓国・5年生) 対 施 毅龍君(日本・6年生)

◎やさしい囲碁入門講座! ◎さよならコンサートなど *「百面打ち指導碁」は事前申し込みが必要です。

【朝鮮通信使人形展 & 光元次夫さんのお話】

秀吉による朝鮮出兵（文禄・慶長の役＝壬辰倭乱）の後、国交回復・捕虜送還に向けた家康の努力により、1607年に初めて朝鮮通信使が江戸を訪れました。以後1811年まで12回、朝鮮通信使が日本を訪れ、すぐれた文化や技術をわが国に伝えました。

一行は高いレベルの学者や文化人で構成され、日本の知識人はこぞって宿舎を訪れ、歓談・交流しました。鎖国の時代なので、異国の人々の行列を見に全国から見物人が集まり、オリンピックと万博を合わせたほどのイベントでした。こうして、朝鮮通信使を模した「唐人・唐子人形」や「唐人揃い」が各地に伝承されました。

朝鮮通信使が日本を訪れた200余年は、日本と朝鮮が友好と平和を続けた時代です。「これだけの長きにわたり、国境を接する二国が友好関係にあったことは世界に例がない」（釜山・朝鮮通信使歴史館の映画より）。

広島県府中市在住の光元次夫さん（元高校教諭）は、退職後に日本全国を回り、大量の「朝鮮通信使人形」を収集されました。日韓文化交流フォーラムでそれらを展示し、解説していただきます。ご期待ください。

【全盲棋士・柿島光晴二段 対 金住則行六段 記念対局】

目の見えない人でも碁が打てる！ 不思議ですね。その秘密は、プラスチックでできた特製の碁盤と碁石にあります。柿島光晴さん（34歳・東京・町田市在住）は、20歳頃に失明後、テレビの「ヒカル碁」に接して囲碁を習得。2年で5、6級になり、今はアマチュア二段の実力です。日本福祉囲碁協会の会員として、日本点字図書館で囲碁教室を教え、全国・世界で障がい者への囲碁普及に活躍されています。対する金住則行さんは東京で弁護士をされる傍ら、「李藝～初めての朝鮮通信使」をお書きになり、今、映画化が進められています。お二人は今回、初めての対戦です。特製碁盤を作る際の金型が朽ちて再生産ができないため、新しい金型を作りたいと願っています。ご協力いただける方がおられれば嬉しいです。

【邦楽演奏】 松浦歌朋（琴）・中川淳山（尺八） 曲目：彩春 ほか

■松浦歌朋氏 生田流筑紫会 大師範飛梅司。華朋会及び邦楽グループ I Z U M I 主宰。NHK邦楽オーディション合格。NHK邦楽のひとつときに出演するほか、小中学校でのボランティア演奏などで幅広く活動。

■中川淳山氏 日本尺八連盟 大師範。平成11年日本尺八連盟主催の全国尺八コンクールソロ部門優勝。NHK「邦楽のひとつとき」に出演するほか、小中学校でのボランティア演奏などで幅広く活動されている。

【ピアノと手作り楽器とボイパのコラボ】 水野伸子（ピアノ：岐阜女子大学准教授）

【応援出演】丸山泰明（心の唄バンド：ボイパ） & 福山市立大学学生の皆さん

■ピアノ演奏「子犬のワルツ(ショパン)」 ■手作り楽器演奏とボイパのコラボ：ラップの芯を用いて「ミッキーマウス・マーチ」フィルムケースを用いて「さんぽ」 ■ピアノ演奏とニュースペーパー・パーカッションとボイパの大コラボ：トルコ行進曲(モーツァルト) 熊蜂の飛行～ジャズバージョン(リムスキー・コルサコフ)

奇妙な音や美しい音にワクワクしたり、ドキドキしたり、ホッとしたり…子ども達の音楽世界は、大変豊かで魅力的です。音の不思議さを感じ、音楽に心揺れる体験を、どうぞお楽しみください（水野伸子）

【水野伸子氏プロフィール】幼児の豊かな音楽世界に魅せられて保育園で始めた音楽会「音で遊ぼうーわいわいコンサート」は、これまでに270回を数える。現在、岐阜女子大学准教授、岐阜大学・愛知学泉大学非常勤講師。日本保育学会・日本音楽教育学会・日本学校音楽教育実践学会会員。

【日韓記念コンサート出演者プロフィール】

◆金鍾曙：ソウル在住歌手。2010年の「朝鮮通信使」で来日し、韓国文化院コンサートで心の唄バンドと共演。

◆金蓮玉：京仁地域教師フルートアンサンブル「フリーリアンス」指導指揮者、ロッテ文化教室フルート講師。

◆金秉秀：BSK音楽院理事長、ソウルナショナルシンフォニーオーケストラ制作監督、ロッテ文化教室サクソ講師。

◆木谷正道：声楽家の故藤井典明氏、権泰孝氏に師事。福祉施設で弾き語り続ける傍ら、コンサート活動を行う。

◆竹DS：3歳で聴覚障がい、20歳で音を失うが創作手話唄で音楽活動を再開 ◆出縄守英：学生時代はギターに没頭。今は、障害者と共に器楽バンドで活躍。進和学園副理事長 ◆丸山泰明：学生時代からアカペラ(ボイパ)を始め、今もライブを続ける ◆三木靖子：4歳からピアノやアンサンブルを学ぶ。現在はピアノのほか作曲にも取り組む

★9月22日（土）【関連イベント】「福祉のシンポジウム＝鞆・地域介護の奇跡」

午後2時30分～鞆の浦・銀河学院研修センターで開催 *午前：さくらホーム視察会

介護度4、認知症、歩行不能の97歳男性が地域とホームの見守りの中で一人暮らしをしている。お年寄りとは異口同音に「私は鞆で死にたい」と語る。過疎・高齢化のまちでの地域介護…福祉のプロによる初のシンポジウムで奇跡の秘密に迫ります。朝鮮通信使のメインイベントに並行して参加できます。希望者にご連絡下さい

◆基調報告：羽田富美江（鞆の浦・さくらホーム施設長） ◆パネリスト：金田由美子（川崎・在宅サポートセンター生田センター長） 長尾佳子（東京・精神科医） 小田中（大見）京子（平塚・在宅サポートセンター代表） 大庭三枝（福山・福山市立大学児童教育学科准教授） 出縄守英（平塚・社会福祉法人進和学園副理事長） 朴 成培（ソウル・韓日コーディネータ） ◆コーディネータ：山本馨（東京・上智大学博士課程）

★他の関連イベント：22日夜：日韓市民交流会、23日午前：鞆・まち歩き（ガイド：福山市立大学生）など